プラスチック汚染を終わらせるための意欲的かつ効果的な世界条約についての

私たちのビジョン

国際プラスチック条約のためのビジネス連合の共同声明

私たちは、プラスチックのバリューチェーン全体にわたる企業、金融機関および主要非政府組織（NGO）によって構成される集団として、プラスチック汚染を終わらせるための野心的かつ効果的な世界条約の策定を支援します。

この文書は、私たちの共有のビジョン、そのビジョンの達成に必要となる主要な成果、プラスチック汚染を終わらせるための世界条約に含めるべきと考える重要な要素、そして計画されているビジネス連合の目標を示すものです。締めくくりとして、より多くの組織に参加を呼びかけています。

# 私たちのビジョン

**私たちのビジョンとは、プラスチックが決して廃棄物や汚染物質にならず、製品や材料の価値が経済において維持されるような循環型経済を達成することです。**

包括的な循環型経済アプローチは、プラスチック汚染の根本原因に対処し、気候変動[[1]](#footnote-1)と生物多様性の危機[[2]](#footnote-2)に立ち向かう世界的な取り組みに寄与すると同時に、経済的、環境的、社会的な利益をもたらすことができます。

現在、大半のプラスチックは循環型経済を念頭に設計されたものではなく、実際に循環してもいません。しかし、入手可能な最良の科学的分析では、既知の循環型経済ソリューションを大規模に適用すれば、このまま何もしない場合と比較すると、2040年までに年間プラスチック汚染量を80%削減することができ[[3]](#footnote-3)、2060年までに世界全体でプラスチック汚染をほぼゼロにできることが示されています[[4]](#footnote-4)。プラスチック汚染を永久に終わらせ、変化のペースを速めるには、高い目標を掲げてバリューチェーンの全ステップに取り組む循環型経済アプローチを採用し、そもそもプラスチック廃棄物の発生を防ぐシステム全体の変革が必要です[[5]](#footnote-5)。

私たちは、UNEA決議「プラスチック汚染の撲滅：法的拘束力のある国際制度の制定に向けて」と政府間交渉委員会（INC）の設立を歓迎します。法的拘束力のある条約は、既存のイニシアティブから得られた教訓を基にプラスチックの循環型経済への進展を加速させる唯一の最も重要な機会である、と私たちはみなしています。私たちは、力を合わせることで、前向きな企業や金融機関、主要NGOの明確でより力強い声を条約交渉に反映させることを目指し、意欲的かつ効果的な条約の策定を支援します。

私たちは、この条約には国の政策や行動を世界共通の戦略的方向性に向けて刺激し、調整し、整合する潜在的可能性がある、と考えます。そこで各国政府に対し、適切な国際政策の枠組みを提供し、世界中で切に必要とされているインフラストラクチャー、イノベーション、スキルへの投資を可能にする条件を創出する意欲的かつ効果的な条約を策定するよう求めます。この条約は、プラスチックの循環型経済への移行を世界規模で加速させる包括的かつ協調的な対策を規定し、その効果的な実施のための支援的メカニズムを含めることで、地域の状況に応じたソリューションの適応を可能にする必要があります。また、マクロプラスチックとマイクロプラスチックの両方を対象とし、自然環境へのプラスチック汚染のあらゆる発生源と経路に対処する範囲の広いものでなければなりません。

プラスチック汚染を終わらせるための意欲的かつ効果的な条約の交渉が成功すれば、世界はプラスチック汚染問題に取り組む必要があるという明確な危機感をもたらします。私たちは、この条約交渉の目標水準を引き上げ、世界中でプラスチックの循環型経済に向けた進展を加速させるために、各国政府と協力することを確約します。

# ビジョンの達成に必要なグローバルな成果

プラスチックの循環型経済の実現というビジョンを実現するためには、次の3つの重要分野で進展がなされなければならない、と私たちは考えています。

1. **循環型経済アプローチによるプラスチックの生産と使用の削減、**特に漏出率が高く、寿命が短く、化石由来のバージン資材を使用して製造されているプラスチックへの対処の強化。たとえば以下を目指します。

* **再生利用可能性または生分解可能性を妨げる、または自然界に漏出する危険性の高い、プラスチックの材料、構成部品、または添加剤**（意図的に添加されたマイクロプラスチックを含む）**を排除する**
* 可能な限り**使い捨てプラスチックから脱却し、再利用可能でより耐久性の高いソリューションを選択する**ことで、全体的な材料の消費と環境への影響を削減する
* **代替材料が**実際的かつ大規模に**効果的に循環可能な場合は代替材料に置き替え**、環境に対する影響の軽減を実証する

1. **排除できない全プラスチック品目の循環と**、経済における最高価値の状態での維持。たとえば以下を目指します。

* **すべてのプラスチックが**実際に大規模に**再利用、再生、または生分解されるように製品やシステムを設計する**
* 使い捨てプラスチックや寿命の短い用途の必要性を減らす**新しいビジネスモデルと提供モデルの**大規模な**導入を加速化する**
* プラスチックを回収、分別、再生するインフラストラクチャーやシステムのための**十分、継続的、献身的な公的資金と民間資金を動員する**
* 幅広い用途に使用できる**再生プラスチックの量の増大と品質の向上を図る**
* **埋め立て、焼却、廃棄物エネルギーから**、経時的により地域に適した循環型ソリューションの実践に**移行する**

# 

1. **除去が困難な残存するマイクロプラスチックおよびマクロプラスチックの環境漏出の防止と修復**（堅強な廃棄物管理慣行と過去の汚染の追跡・対処を含む）。たとえば以下を目指します。

* 除去または循環が不可能なすべてのプラスチックの安全な廃棄の慣行を改善するための**廃棄物管理のガバナンスとインフラストラクチャーを強化する**
* 高い回収率を達成するための**回収システムを確立、改善する**
* 摩耗、繊維の剥離、ペレットの損失などによる**マイクロプラスチックの環境への放出を防止する**
* **現在進行中および過去のプラスチック汚染によって引き起こされる損害に対処するための世界的な取り組みを調整し**、最も影響を受ける脆弱なコミュニティと生態系を保護する

# 計画されている連合の目標

国際プラスチック条約のためのビジネス連合は、条約交渉における私たちのビジョンと望ましい結果を支援するため、私たちのビジョンに賛同する組織と共同で、以下の4つの主要目標を追求します。

1. **意欲的かつ効果的な条約のための明確で一貫した政策的識見と提言の策定**、および考慮すべき重要な要素と優先的な政策案件に関する交渉の情報提供。

私たちは、条約交渉において目標水準をどれだけ高められるかによって取り組みの成功を定義します。したがって、各INC会合に対して政策提言を行う意向です。また、利用可能な最新の科学と既存のイニシアティブに基づき、私たちのビジョンと望ましい成果に沿ったレベルの意欲を注いだ政策的識見と提言を行うことを目指します。

1. プラスチックの循環型経済に向けた共通する意欲と、プラスチック汚染を終わらせるための効果的で法的拘束力のある条約の締結を支援することへの強いコミットメントを持つ**企業や金融機関、主要NGO、業界組織からなる包摂的な集団の招集**。

私たちは、金融機関を含むプラスチックのバリューチェーン全体のさまざまな地理的地域、規模、業種のメンバーや支援組織を多様に代表していることを、成功と定義づけます。

1. 連携する企業、NGO、金融機関から政府への**重要なメッセージと意見提供を共同発信するための提言活動の調整**。

私たちは、計画されている連合とその個々のメンバーの唱導およびコミュニケーション活動の結果として、私たちの政策提言が条約に組み込まれることを、成功と定義づけます。政府と積極的に関わり、その他のステークホルダーや組織と協働し、私たちの呼びかけを強化するための見識を深めていきます。

1. **意欲的かつ効果的な条約がプラスチック汚染を終わらせるための制度変革に向けた進歩の牽引力となることについてのビジネス界の信頼の構築。**

私たちは、将来のメンバー組織が条約の発展を理解し、その便益を認識し、その結果に対して十分に備えること、ならびに私たちのビジョンをより広範なビジネス界に推し進めるために業界団体と協働することを、成功と定義づけます。

# この条約で私たちが支援する重要な要素

私たちのビジョンとそれに関連する成果を支えるには、法的拘束力のある条約がプラスチックの循環型経済を拡大させ、プラスチック汚染を終わらせるための適切な条件を規定する必要があります。企業や投資家にとって、これは平等な競争環境を生み出し、分断されたソリューションの寄せ集め的な実施を防ぐことを意味します。これを達成するには、私たちは条約に以下の要素が包含すべきであると考えます。

1. **この条約は、**政府、企業、市民社会の行動を調整するために全締約国が自国の司法管轄区域で実施することを求められる**明確な目標、目的、義務を、緊迫感をもって設定する必要があります**。これらの規定条項は、共通の定義や整合された基準と指標に基づいたものでなければならず、経時的にそれらを徐々に強化するためのレビューメカニズムも含める必要があります。
2. **この条約は、**私たちが望む世界的な成果の達成に役立ち、地域的条件に合わせて適応可能である**包括的かつ調整された一組の上流および下流の政策措置を定義していなければなりません**。それには以下が含まれます。

* 循環型経済への進展の妨げとなる、重大な健康リスクを呈する、または自然界に漏出するリスクの高い、**問題のあるプラスチックを段階的に廃止するためのスケジュール**
* 必要なイノベーション、投資、消費者の選択を刺激することによって循環型経済ソリューションを拡張させる、**整合された規制上および財政上のインセンティブ**
* **使用後のプラスチックの回収と処理を目的とする継続的で十分な専用の資金の確保を徹底するためのメカニズム。**たとえば、適切に設計された義務的な拡大生産者責任制度を通してなど
* **バリューチェーンに関わるすべての人々の生計、健康、労働、人権を保護し尊重する規定条項。**たとえば、非公式または共同的な立場で働くワーカーを安全で社会的に公正な循環型経済を実現するためにの重要なステークホルダーとしての認識と雇用を通じてなど

1. **この条約は、国、地域、および全世界の各レベルでの実施および進捗状況の監視を支援する制度を包含しなければなりません。**それには以下が含まれます。

* **政策が及ぼす影響の評価の支援**。たとえば、プラスチックのライフサイクル全体にわたる環境的、社会的、経済的な影響をより良く理解するための科学的諮問機関の設立などを通じてなど
* たとえば全世界で整合された開示義務や報告基準を通じた、**政府と企業の説明責任の強化**
* 専用の資金メカニズムと、国内法とアクションプランを策定し実施するための専用資金メカニズムとキャパシティビルディングを通じた、**各国の効果的な参加の徹底**
* **整合されたモニタリングによるプラスチックの流れに関する透明性の改善。**たとえばバリューチェーン全体にわたりデータと情報共有に関する共通規則を用いるなど、循環型経済ソリューションの実施に向けた進展を追跡調査

# 行動喚起

私たちは、この文書で概説した私たちのビジョンに賛同する企業、業界団体、金融機関、ならびに主要な非政府組織（NGO）に対し、エレンマッカーサー財団と世界自然保護基金（WWF）が招集した国際プラスチック条約のためのビジネス連合への参加を呼びかけています。

私たちは一丸となって、プラスチック汚染を終わらせるための意欲的かつ効果的な条約を求める呼びかけを強化すべく、交渉の場で一つの明確な声を上げていきます。連合は、2024年末に予定されている条約の多国間交渉が終了するまで活動を続けます。条約文が採択され、批准が可能になった後も、連合はさらなるインパクトの機会を評価します。

1. The Pew Charitable Trusts, Systemiq (2020), [Breaking the Plastic Wave](https://www.pewtrusts.org/en/research-and-analysis/articles/2020/07/23/breaking-the-plastic-wave-top-findings) [↑](#footnote-ref-1)
2. Ellen MacArthur Foundation (2021), [The Nature Imperative:How the Circular Economy tackles Biodiversity Loss](https://ellenmacarthurfoundation.org/biodiversity-report) [↑](#footnote-ref-2)
3. The Pew Charitable Trusts, Systemiq (2020), [Breaking the Plastic Wave](https://www.pewtrusts.org/en/research-and-analysis/articles/2020/07/23/breaking-the-plastic-wave-top-findings) [↑](#footnote-ref-3)
4. OECD (2022), [Global Plastics Outlook - Part 2:Policy Scenarios to 2060](https://www.oecd.org/publications/global-plastics-outlook-aa1edf33-en.htm) [↑](#footnote-ref-4)
5. OECD (2022), [Global Plastics Outlook - Part 1:Economic Drivers, Environmental Impacts and Policy Options](https://www.oecd-ilibrary.org/environment/global-plastics-outlook_de747aef-en) [↑](#footnote-ref-5)